

新しい取り組み 誰でも ユースセンター きょうと

ユースセンター(=青少年活動センター)、それは若者がいつでも、だれでもふらっと行くことができ、自分らしく過ごせる場所。ですが全ての若者が、ユースセンターを知っているでしょうか?立地や時間帯、雰囲気など、いろんな理由で青少年活動センターでは出会えない若者はたくさんいます。

そこで、「どこでもドア」のように、京都のどこにでもユースセンターが当たり前にある日常を目指して、どこでもユースセンターきょうとは生まれました。今日もあなたのもとへひとつとび!

※本事業は、有限責任事業組合まちとしごと総合研究所【「休眠預金活用事業」
“京都の若者へ寄り添うアプローチによる生きる基盤支援事業”】の助成を受けて実施しています。



Instagramはこちら

ユスカル!
2023にて
出店!



「YOUTH STAND」はキッチンカーを活用した、移動型ユースセンター。お祭りイベントで若者とともにキッチンカーで料理を提供するほか、公園の駐車場などを間借りし、青少年活動センターの活動・居場所・相談機能を持つ、即席のユースセンターを京都のあちこちで仕掛けていきます。



移動型ユースセンター「YOUTH STAND」(ユーススタンド)出動

現在、青少年活動センターのない、上京・左京・右京・西京に重点を置きイベントなどに出席する中で、いろいろな声を聴いています。今後、共感するパートナーとともに定期的な活動が実現できないか、企てていくつもりです。

若者はもちろん、地域の方にとっても、「YOUTH STAND」をめがけて来ることはもちろん、キッチンカーで美味しいごはんを買ったら、そこがユースセンターだった、そんな出逢いを大事にしています。

出店情報はInstagramをご覧ください。
「YOUTH STAND」で、あいましょう!!!



こんにちは
この＃＃＃＃

『おりおりのいえ』始めました



イト(休息拠点)日中利用・宿泊可能として、ゆくりしたり、学んだりすることができ(利用料無料)。その中で、相談や医療機関との連携をすすめていきます。また、折に触れて、帰って来るところもつづいていかなる場を目指してまいります。



※子ども・若者ケア...本来大人が担うと想定されている家事や家族の世話などを日常的に行っている子どもや若者

市営住宅空き住戸を活用した若者の場所 向島ユースセンター1117

青少年活動センターにアクセスしにくい立地にある向島「コートワン」で、約10年前、商店街の一角を使って、ひっそりとあった「向島ユースセンター」。地域の応援も増え、中学校跡地での活動を経て、2023年12月17日に市営住宅1117号室で改めてオープンしました。

「1117」くらいの広さの小さなユースセンターで、イメージは、市内の青少年活動センターにある、自由に過ごせるロビー空間のみではありませんが、機能は同じです。でも、ちよつと違うのは、京都市の施設ではなく、当協会が地域の方とともに運営していることです。

いろんな場所、いろんなサイズ、いろんな人が運営するユースセンターを、「向島ユースセンター1117」をモデルに、これからも仕掛けていきたいと考えています。



若者を「食」で応援する「WAKASHOKU.com」

「コロナ禍に露呈した、若者が食事を摂れていない問題。それは「お金がない」という課題だけではなく、孤食や偏食、心も満たされる食卓につけていない事実があります。地域の飲食店や若者を応援したい人たちが、つながる「コミュニティ」をもとに、フードチケットで若者に食とつながりの機会を届けます。京都 帯で若者を応援する「WAKASHOKU.com」ユースセンター」実現のための仕掛けです。

ご寄付のお願い

当協会では、ユースサービスの理念のもと、以下を柱として様々な取組を行っております。

- ・若者が本来持っている力を発揮する場づくり
- ・若者が課題を乗り越えていくための支援
- ・若者の市民参加、地域社会への参加を促す
- ・ユースサービスの活動を広く知ってもらうための活動

郵便振替口座番号	00950-2-172487
座名義	公益財団法人 京都市ユースサービス協会

※いただいた寄付は広報誌「YOUTH SERVICE」にも活用させていただきます。ご協力をお願いいたします。



若者の力が社会を創る。

職員を募集しています!



公益財団法人 京都市ユースサービス協会では、一緒に活動する仲間を募集しています。



詳しくはこちら▼
<http://ys-kyoto.org/about/recruit-2/>

みなさまからのご応募お待ちしております!

